

知事選挙での

# あついご支援、ありがとうございました

## 小川氏、三八四五七票を獲得

小川英雄	38,457
当・佐藤雄平	497,171
森 雅子	395,950
川田昌成	23,113
高橋喜重	10,598

佐藤前知事の逮捕にまでおよんだ福島県政汚職事件に端を発した出直し知事選挙が十二日、投・開票となり、日本共産党推薦で「みんなであたらしい県政をつくる会」（亀田俊英会長）の小川英雄氏は三八四五七票を獲得しました。

選挙結果を受けて小川氏は、「支援いただいた方々に感謝したい。汚れた政治と関係のないみなさんに、手づくりで支えていただいたことを誇りに思う。訴えた汚職事件の問題はこれで終わりではなく、県民生活の問題とともに引き続き全容解明を新知事に求めていきたい」とのべました。

### 福島県知事選挙の結果について

二〇〇六年十一月十二日 みんなで新しい県政をつくる会

1. 県政汚職事件による前知事の辞任・逮捕にともなう県知事選挙において、私たちは福島県労連議長の小川英雄氏を擁立し、清潔・公正で県民のくらしを応援する県政の実現をめざし、全力でたたかいました。

私たちの訴えが届いたところでは、共感と支持の声が広がりましたが、全国的には、広範な県民に届けることができず、小川候補への得票は三万八千余票にとどまり、当選することができませんでした。ご支援をいただいた県民のみなさんに心から感謝を申し上げます。

2. 今回の知事選挙では、「県政汚職事件をあいまいにせず、徹底解明すること」や、「利権政治の温床であるムダな大型開発をやめ、県民のくらしを守ること」が争点でした。しかし、佐藤前知事を長年にわたり支えてきた「オール与党」が2つに分かれて争う構図となり、結果的には双方とも、県民に争点を明確に示す選挙戦とはなり得ませんでした。

その中で、自民党・公明党が推薦した落下傘候補の森まさこ氏は、それぞれの中央本部が党幹部、現職閣僚や国会議員を連日動員し、しめつけをはかったにもかかわらず、落選することになりました。これは県民が、自民・公明政治の押しつけにノーの審判を下したことを意味します。そのことが佐藤雄平氏当選の要因となったことは明らかです。

3. 新知事となった佐藤雄平氏は、選挙期間中、汚職事件、ムダな大型開発、原発・プルサーマル問題などでまともなこたえることはありませんでした。しかし、今後その態度が否応なく迫られます。私たちは、選挙戦で掲げた県政汚職事件の徹底解明、ムダな大型開発をやめ、県民のくらしを守る、原発・プルサーマルへの態度や「商業まちづくり条例」など県民のねがいにこたえた施策を守り発展させ、県民のくらしと平和を守るため、引き続き全力をあげるものです。